

1. 職名・氏名 講師 上木礼子

2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井大学、授与年月 2005年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護学原論Ⅱ（2単位 1年後期）
②内容・ねらい（自由記述） 内容:古代から現代まで、看護の歴史と変遷、現代の課題を概説した。人が人を見る「看護」はどのように専門性を持って発展してきたかを理解することをねらいとした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 人口動態の変化など社会の現況から、現代の看護を取り巻く課題、国際化と看護についても内容を追加した パワーポイントでは写真や図表などを使い、視覚的にイメージできる一助となるように工夫した。また、概説にとどめ、続くグループワークでそれぞれの課題を掘り下げられるようにした
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅰ（2単位、1年前期（分担）、基礎看護技術Ⅱ（2単位、1年後期（分担）、基礎看護技術Ⅲ（1単位、2年前期（分担）、フィジカルアセスメント(1単位、2年前期（分担）、介護概論(選択2単位、2年前期(分担)、
②内容・ねらい（自由記述） 内容：看護技術Ⅰは運動と休息の項目。看護技術Ⅱは排泄の項目。看護技術Ⅲは呼吸・循環の項目を担当した。フィジカルアセスメントでは腹部のアセスメントを担当。看護事例として心不全患者のペーパーペイシエント資料を用い、看護過程の展開について説明した。介護概論では看護技術ⅠⅡから移動と、排泄の介護についてエッセンスを紹介した。 ねらい：受講生がすでに学習している解剖・生理と関連して、根拠を踏まえた看護技術の基本が理解できる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・ Educational Video Onlin のサービスを利用して、学生が自己学習した内容をクラスメートにプレゼンテーションし意見交換するアクティブラーニングの方法を導入した ・ プレゼン担当は当日決めるなど、全学生に自己学習する状況を課したが、動画の視聴率は高く積極的に参加していた。動画は情報量が多く技術系の自己学習には適していると思う。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅰ（1単位、1年次（分担）・基礎看護学実習Ⅱ（2単位、2年前期（分担） 看護マネジメント実習（2単位、4年前期（分担）
②内容・ねらい（自由記述） 内容：県内総合病院での臨床看護実習 ねらい：基礎看護学実習Ⅰでは医療施設、看護師の役割を理解すること、基礎看護学実習Ⅱでは、受け持ち患者に対して看護過程の展開ができること。看護マネジメント実習では病院組織における看護管理とケア提供システムの運営について実際を通して理解すること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・ 実習では、患者のほか臨床指導者、他スタッフとも積極的にかかわる機会を持つよう支援し、講義と臨床場面の繋がりを意識させるようにした。 ・ 担当患者に関して疑問を持ったことに関して、学習のヒントになる書籍等の紹介やスタッフへの働きかけなどを指導し、今後自立した学びができるよう指導した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位、4年次）
②内容・ねらい（自由記述） 内容：看護研究へ自律的に取り組み成果を発表する ねらい：研究的態度、基本的な研究の進め方を実践を通して学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・ 学生が研究テーマとしたいと思った疑問を大切に、モチベーションを損なわないよう多角的な見方を提示しながら進めていった ・ 実習経験を通じた疑問について量的に調査する内容であったが、目的、方法からデータの解釈の仕方など、研究の筋をとおり論理的に展開することの重要性を伝えることに心がけた。 ・ 成果を発表する際には、聴衆の置かれた状況を想定しながら、伝えたいことをわかりやすくということのポイント指導した。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
④本学における業務との関連性（自由記述）
③その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
④その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名) 7月7日国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会 第9回学術集会企画委員を担当
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所) 9月6日-8日 日本看護技術学会第18回学術集会(福井市)運営委員を担当 11月30日-12月1日 第39回日本看護科学学会学術集会実行委員を担当
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間))
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 福井家庭裁判所委員会委員 2回/年 の委員会への参加、ポスター掲示など家庭裁判所からの 広報活動への協力
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） ・前期公開講座 医療機関における外国人患者受入れの Point of View 永平寺キャンパス 地域経済研究所 8/8(木)19:00～21:00、8/22(木)19:00～21:00 ・後期公開講座 病気になりにくい生活～感染する病気から家族を守ろう～ 永平寺キャンパス看護福祉学部棟 507 教室 11/9(土)13:30～16:30
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
前期の公開講座で参加者との意見交換を通し、現在取り組んでいる外国人患者への対応に関する 調査研究への示唆を得られた。また、継続的な講座等へニーズがあることがわかり次年度以 降へつなげたい 後期の公開講座では、一般住民に対する内容だったが、活発な質疑応答もあり手ごたえを感じ た。医療職として専門知識を正しく伝える場として公開講座の活用を考えていきたい。
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
（職名、期間）
(2)委員会・チーム活動
（名称、期間） 看護学科カリキュラム検討委員会
(3)学内行事への参加
（行事名、参加日時）
(4)その他、自発的活動など
（活動名、活動内容、活動期間）